

■After 建築名称 下段:英語名	紀尾井町パークビル		
建築用途	大分類 事務所	小分類 オフィス	
改修設計者	プランテック	<a href="#">URL</a>	
所在地	東京都千代田区紀尾井町	<a href="#">Google Map</a>	
改修年	2014年		
建築規模	地上10階・地下1階、SRC造・RC造・S造(耐震要素)、延床面積:20,470,03㎡		
掲載書誌			After 外付け耐震架構のアウトフレームが新たな外観をつくり出している
賞・選定			撮影者提供者 撮影:桐原武志 2024年
資料・その他			概要 After テナントへの負荷が少なくビルの資産価値を高める耐震補強として、外付け耐震架構(アウトフレームグリッド工法)を採用
資料・その他			URL
■Before 建築名称	紀尾井町パークビル		概要 Before 1977年竣工(旧耐震基準)の10階建てSRC・RC造のオフィスビル
建築用途	大分類 事務所	小分類 オフィス	
■写真 Before 改修前の外観 Before プランテックWebsiteより	After アウトフレームの見上げ		After アウトフレームのコーナー詳細
			
撮影者提供者 提供:プランテック	撮影者提供者 撮影:桐原武志 2024年		撮影者提供者 撮影:桐原武志 2024年
■リノベーション内容	キーワード 補強、外観改変	内容 <プランテック website参照> ビルの資産価値を高める耐震補強として、建物の外壁をデザイン性のある外付け耐震架構で包むアウトフレームグリッド工法が採用されている。同工法には下記のメリットがある。 ①室内に耐震補強がなく、テナントへの影響が少ない。 ②主要構造部の過半数を超えない改修にとどめ、既存廻及を回避できる。 ③既存設備機器・消防隊進入口には影響しない耐震計画を可能とする。 ④特殊な鋼材は使用せず、汎用構造材で構成できる。 ⑤耐震架構により新しい外観が「変化のメッセージ」となり、ビルの価値が向上する。 ⑥ブレース補強のようなビルの古さを強調する補強ではない。 ⑦窓からの眺望を阻害しない耐震架構を実現する。 ⑧アウトフレームが庇の役割をして設備負荷の低減になる。	
■備考	施主:レジデンス・ビルディングマネジメント株式会社		
■作成者 氏名/所属	桐原武志 / Free JIA再生部会		作成協力 プランテック